



2021年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年12月10日

上場会社名 神島化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 2020年12月10日

配当支払開始予定日

2021年1月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の業績(2020年5月1日～2020年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	9,652	9.6	562	12.6	597	25.8	401	8.3
2020年4月期第2四半期	10,674	3.9	500	49.3	474	53.4	370	76.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	43.84	43.66
2020年4月期第2四半期	40.51	40.39

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	19,545	7,867	40.1
2020年4月期	19,082	7,552	39.4

(参考)自己資本 2021年4月期第2四半期 7,828百万円 2020年4月期 7,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		10.00		10.00	20.00
2021年4月期		10.00			
2021年4月期(予想)				15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年4月期の業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	9.4	1,150	24.0	1,200	37.3	850	41.4	92.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期の業績予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期2Q	9,240,000 株	2020年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2021年4月期2Q	75,682 株	2020年4月期	75,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期2Q	9,164,421 株	2020年4月期2Q	9,153,548 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、経済・社会活動が大幅に制限されたことにより、景気が冷え込みました。緊急事態宣言解除後は個人消費の持ち直しがみられるものの、引き続き厳しい状況が継続しています。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、消費増税後の反動減や新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、新設住宅着工戸数が当第2四半期累計期間において41万4千戸と対前年度比11.3%の減少となりました。

このような状況の中、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は9,652百万円と前年同四半期比1,022百万円(9.6%)の減収となりました。営業利益は562百万円と前年同四半期比62百万円(12.6%)の増益、経常利益は597百万円と同122百万円(25.8%)の増益、四半期純利益は401百万円と同30百万円(8.3%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

建材事業におきましては、「2020年度 グッドデザイン賞」受賞の『アルテザート(高意匠軒天井用素材)、アトラフィット(専用金具による施工方法)』を投入するなど高級軒天ボードの拡販があったものの、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う新設住宅着工戸数の低迷により業界全体の販売量が減少したことや採算性重視の施策により一部製品の販売が減少したことなどから、売上高は6,012百万円と前年同四半期比957百万円(13.7%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)も修繕費など固定費負担の減少や生産性の向上・各種コスト削減などあらゆる領域にわたる徹底した収益改善などがあったものの、減収に伴う利益減の影響を吸収するには至らず、179百万円と同63百万円(26.2%)の減益となりました。

② 化成品事業

化成品事業におきましては、セラミックス製品の拡販があったものの、一部マグネシウム製品が新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受けて、受注が減少したことなどから、売上高は3,639百万円と前年同四半期比64百万円(1.8%)の減収となりました。しかし、セグメント利益(営業利益)は、高利益率のマグネシウム製品・セラミックス製品の拡販や各種コスト削減による収益改善などにより636百万円と同116百万円(22.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は19,545百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ462百万円増加いたしました。このうち、流動資産は9,940百万円と前年度に比べ422百万円増加いたしました。主な増減要因は、現金及び預金が1,061百万円増加、商品及び製品が370百万円、電子記録債権が142百万円、仕掛品が87百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は9,604百万円と前年度に比べ40百万円増加いたしました。主な増加要因は、有形固定資産が64百万円増加したことによるものであります。

流動負債は8,458百万円と前年度に比べ369百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債のその他に含まれる未払金が280百万円、短期借入金が100百万円増加したことによるものであります。

固定負債は3,219百万円と前年度に比べ222百万円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金が221百万円減少したことによるものであります。

純資産は7,867百万円と前年度に比べ315百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が310百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難な部分がありますが、現時点で入手可能な前提条件に基づき算定いたしました。

詳細については、本日公表の「通期業績予想及び剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440	2,502
受取手形及び売掛金	3,363	3,393
電子記録債権	780	638
商品及び製品	2,052	1,682
仕掛品	704	617
原材料及び貯蔵品	879	811
その他	297	296
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,518	9,940
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,110	3,027
機械及び装置（純額）	3,078	2,796
土地	1,381	1,381
その他（純額）	635	1,064
有形固定資産合計	8,205	8,270
無形固定資産	33	26
投資その他の資産		
投資有価証券	259	258
繰延税金資産	729	757
その他	337	292
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,325	1,308
固定資産合計	9,564	9,604
資産合計	19,082	19,545

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426	1,437
電子記録債務	1,092	1,156
短期借入金	3,000	3,100
1年内返済予定の長期借入金	707	480
未払法人税等	190	244
賞与引当金	286	333
製品保証引当金	105	101
設備関係支払手形	11	0
設備関係電子記録債務	125	90
その他	1,144	1,513
流動負債合計	8,089	8,458
固定負債		
長期借入金	1,399	1,177
退職給付引当金	1,819	1,845
その他	223	195
固定負債合計	3,441	3,219
負債合計	11,530	11,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,085	1,085
利益剰余金	5,138	5,448
自己株式	△27	△27
株主資本合計	7,516	7,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	1
評価・換算差額等合計	2	1
新株予約権	32	39
純資産合計	7,552	7,867
負債純資産合計	19,082	19,545

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	10,674	9,652
売上原価	7,787	6,961
売上総利益	2,887	2,691
販売費及び一般管理費	2,387	2,128
営業利益	500	562
営業外収益		
受取配当金	9	6
雇用調整助成金	—	55
その他	20	15
営業外収益合計	29	76
営業外費用		
支払利息	28	21
売上割引	12	12
その他	13	8
営業外費用合計	54	42
経常利益	474	597
特別利益		
投資有価証券売却益	44	—
特別利益合計	44	—
特別損失		
固定資産除却損	13	12
固定資産売却損	—	4
特別損失合計	13	16
税引前四半期純利益	505	580
法人税、住民税及び事業税	135	206
法人税等調整額	△0	△28
法人税等合計	134	178
四半期純利益	370	401

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,969	3,704	10,674	—	10,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,969	3,704	10,674	—	10,674
セグメント利益	243	519	762	△262	500

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,012	3,639	9,652	—	9,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,012	3,639	9,652	—	9,652
セグメント利益	179	636	815	△252	562

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△252百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

前事業年度末の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。